

## 平成22年2月期 第1四半期決算短信

平成21年7月14日

上場会社名 株式会社 大和

上場取引所 東 大

コード番号 8247 URL <http://www.daiwa-dp.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 宮二郎

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営戦略本部長

(氏名) 斉藤 尚善

TEL 076-220-1100

四半期報告書提出予定日 平成21年7月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年2月期第1四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第1四半期	16,383	—	△329	—	△163	—	△45	—
21年2月期第1四半期	19,518	1.7	47	95.6	79	10.2	△1,303	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第1四半期	△1.62	—
21年2月期第1四半期	△46.18	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第1四半期	65,563	14,091	21.5	501.16
21年2月期	66,643	14,114	21.2	501.81

(参考) 自己資本 22年2月期第1四半期 14,091百万円 21年2月期 14,114百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00
22年2月期	—				
22年2月期(予想)		3.00	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期									
連結累計期間	35,000	—	△40	—	△50	—	△30	—	△1.07
通期	71,300	△8.0	210	—	80	—	10	—	0.36

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

[(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年2月期第1四半期 30,017,000株 21年2月期 30,017,000株

② 期末自己株式数 22年2月期第1四半期 1,898,017株 21年2月期 1,889,991株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年2月期第1四半期 28,122,996株 21年2月期第1四半期 28,179,793株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表にかんする会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)個別業績の概要

平成22年2月期の個別業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	円	%	円	%	円	%	円	%	円	銭
第2四半期										
累計期間	33,000	△8.7	120	-	10	-	40	-	1	42
通期	67,000	△7.4	450	-	180	-	100	-	3	56

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

・定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

### (1) 業績の概要

当第1四半期(3～5月)におけるわが国経済は、昨年秋からの急激な景気悪化の影響による雇用や所得など将来に対する不安感を背景に、個人消費の冷え込みが続き、当地域の消費動向においても、総体として極めて厳しい状況で推移しました。

こうした情勢のなか当社企業グループは、現在の社会変化に対応した営業活動を展開いたすとともに、更なる効率運営の営業に徹するべく、販売管理費の削減に努めて参りましたが、業績動向につきましては、主力の百貨店業の売上高が減少する等、厳しい推移を余儀なくされました。

この結果、当第1四半期の連結業績は、売上高163億8千3百万円(前年同期比16.1%減)、営業損失3億2千9百万円、経常損失1億6千3百万円、四半期純損失4千5百万円となりました。

尚、今後につきましては一層の経営効率改善と営業力強化を図って参ります。

### (2) セグメント別の概要

#### [百貨店業]

百貨店業におきましては、社会変化に伴う消費動向に対応すべく、新たな生活提案の充実や価格政策商品の拡充と併せ、接客サービスの向上に努めるとともに、販売管理費の削減に努めて参りましたが、百貨店業の業績は153億3千8百万円、経常損失1億1千8百万円となりました。

#### [その他事業]

その他事業では、それぞれの事業分野で経営効率向上と収益力強化に取り組んで参りましたが、売上高は10億4千4百万円となりました。また、経常損失は3千9百万円となりました。

※「連結経営成績に関する定性的情報」における前年同四半期増減率は、参考として記載しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当社企業グループは、「金融商品に関する会計基準」を適用しており、純資産の部にその他有価証券評価差額金3億8千万円が計上されております。

### (2) キャッシュ・フローの状況

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純損失1千9百万円に、たな卸資産の増加7億8千9百万円等により、1億6千2百万円の減少となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出1億6千万円等により、5百万円の減少となりました。

また「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、短期借入金の減少9億8千9百万円等により、11億8千9百万円の減少となりました。

この結果、「現金および現金同等物の期末残高」は、前連結会計年度末と比較して13億5千7百万円減少し、68億8千8百万円となりました。

※「連結財政状態に関する定性的情報」における前期増減額は、参考として記載しております。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の消費動向の先行きは不透明であり、現時点におきましては、平成21年4月20日の決算発表時の業績予想を据え置いております。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### ② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

##### ③ 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を適用し、通常の販売目的で保有する棚卸資産については、売価還元法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

- ③ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことにともない、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これによる損益に与える影響はありません。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,943	8,300
受取手形及び売掛金	4,026	4,379
たな卸資産	8,438	7,649
繰延税金資産	529	598
その他	859	840
貸倒引当金	△14	△16
流動資産合計	20,783	21,751
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,486	48,401
減価償却累計額及び減損損失累計額	△29,010	△28,673
建物及び構築物(純額)	19,476	19,727
機械装置及び運搬具	707	738
減価償却累計額及び減損損失累計額	△553	△571
機械装置及び運搬具(純額)	153	167
土地	11,688	11,688
その他	1,262	1,259
減価償却累計額及び減損損失累計額	△840	△829
その他(純額)	422	430
有形固定資産合計	31,741	32,015
無形固定資産		
施設利用権	12	12
ソフトウェア	14	13
無形固定資産合計	26	25
投資その他の資産		
投資有価証券	3,078	2,867
差入保証金	8,712	8,720
繰延税金資産	1,086	1,127
その他	134	134
投資その他の資産合計	13,012	12,850
固定資産合計	44,779	44,891
資産合計	65,563	66,643

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,036	5,461
短期借入金	14,410	15,393
未払金	187	653
未払消費税等	73	95
未払法人税等	26	319
未払事業所税	14	56
未払費用	231	221
商品券	11,104	10,105
預り金	6,520	7,152
引当金	1,203	1,298
その他	312	248
流動負債合計	40,121	41,005
固定負債		
長期借入金	7,437	7,588
繰延税金負債	0	0
再評価に係る繰延税金負債	489	489
退職給付引当金	2,968	2,959
その他	453	485
固定負債合計	11,349	11,523
負債合計	51,471	52,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,462	3,462
資本剰余金	2,605	2,605
利益剰余金	7,508	7,638
自己株式	△587	△586
株主資本合計	12,988	13,119
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	380	272
土地再評価差額金	722	722
評価・換算差額等合計	1,103	994
純資産合計	14,091	14,114
負債純資産合計	65,563	66,643



(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)
売上高	16,383
売上原価	12,414
売上総利益	3,969
販売費及び一般管理費	4,299
営業利益	△329
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	8
持分法による投資利益	31
その他	395
営業外収益合計	436
営業外費用	
支払利息	97
その他	173
営業外費用合計	270
経常利益	△163
特別利益	
有価証券売却益	153
特別利益合計	153
特別損失	
固定資産除却損	9
特別損失合計	9
税金等調整前四半期純利益	△19
法人税、住民税及び事業税	8
法人税等調整額	17
法人税等合計	25
四半期純利益	△45

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成21年3月1日  
至 平成21年5月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	△19
減価償却費	366
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9
引当金の増減額 (△は減少)	△97
固定資産除却損	9
投資有価証券売却損益 (△は益)	△153
受取利息及び受取配当金	△9
支払利息	97
持分法による投資損益 (△は益)	△31
売上債権の増減額 (△は増加)	353
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△789
仕入債務の増減額 (△は減少)	575
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△217
預り金の増減額 (△は減少)	367
その他の資産の増減額 (△は増加)	11
その他の負債の増減額 (△は減少)	△459
小計	12
利息及び配当金の受取額	9
利息の支払額	△79
法人税等の支払額	△106
営業活動によるキャッシュ・フロー	△162
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△10
定期預金の払戻による収入	10
有形固定資産の取得による支出	△160
無形固定資産の取得による支出	△1
投資有価証券の取得による支出	△0
投資有価証券の売却による収入	173
貸付けによる支出	△25
貸付金の回収による収入	0
差入保証金の差入による支出	△0
差入保証金の回収による収入	8
その他の支出	△1
その他の収入	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成21年3月1日  
 至 平成21年5月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△989
長期借入金の返済による支出	△143
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,189
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,357
現金及び現金同等物の期首残高	8,245
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,888

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

(単位:百万円)

	百貨店業	その他事業	計	消去 又は全社	連 結
I 売上高及び経常損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	15,338	1,044	16,383	-	16,383
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	20	492	513	(513)	-
計	15,359	1,536	16,896	(513)	16,383
経常損失	118	39	158	(5)	163

- 注) 1. 事業の区分は、日本標準産業分類によっております。  
 2. 「その他事業」の内容については「企業集団の状況」に記載しております。  
 3. 「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は以下のとおりであります。

【所在地別セグメント情報】

該当事項はありません。

【海外売上高】

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(1) 【前年同四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期連結累計期間 〔自平成20年3月1日 至平成20年5月31日〕
	金 額	
I 売上高		19,518
II 売上原価		14,749
売上総利益		4,769
III 販売費及び一般管理費		4,721
営業利益		47
IV 営業外収益		
1. 受取利息及び配当金		11
2. 持分法による投資利益		12
3. その他		254
営業外収益合計		278
V 営業外費用		
1. 支払利息		106
2. その他		139
営業外費用合計		245
経常利益		79
VI 特別利益		-
VII 特別損失		1,374
税金等調整前四半期純損失 (△)		△1,294
税金費用		8
四半期純損失(△)		△ 1,303

「参考」

平成22年2月期第1四半期の個別決算概況について  
第1四半期の実績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第1四半期	15,359	△14.9	△187	-	△96	-	28	-
21年2月期第1四半期	18,057	2.0	-	-	-	-	-	-

(注) 開示した四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビュー対象ではありません。